



今、医療基本法を考える

～いのちを救うグランドデザイン～

日 時：2009(平成 21)年 10 月 18 日(日)14:15～16:30
 場 所：東京女子医科大学・総合外来センター5 階大会議室
 演 者：東京大学医療政策人材養成講座(HSP)医療基本法プロジェクトチーム

シンポジウムのご案内

この数年、医療崩壊の危機感の中、地域・診療科の医師偏在、医療機能の分化・連携の改善など、医療を巡るさまざまな課題について幅広く議論、提言がなされてきたが、その解決に向けた社会的な意思共有とそれにもとづく再建の具体的な行程は未だ見えていない状況にある。

こうした事態を打破し、各関係者と国民が協働して医療を再建していくためには、教育や環境などと同じく医療にもその基本的な理念と政策方針を定めた上位法たる「医療基本法」を制定し、その枠組みの下に国民的議論の場を設定し、粘り強く実効的な取組を推進していくことが必要であり、これこそが医療再建の切り札になると考える。

本シンポジウムでは、共生社会のあるべき医療の姿について医療提供者、患者関係者、有識者等がそれぞれの立場から主要な課題とその改善策を提言し、それらを確実に実現していく観点から見た「医療基本法」の必要性、有効性やそのあるべき内容について議論を深める場としたい。

パネリスト

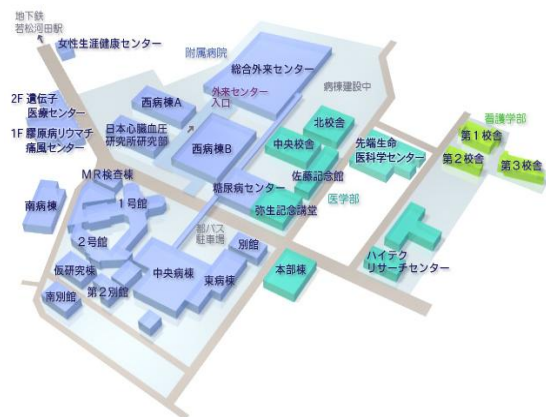
パネリスト(五十音順)
 伊藤雅治((社)全国社会保険協会連合会理事長、元厚労省医政局長)
 田中秀一(読売新聞医療情報部長)
 長谷川三枝子(患者の声を医療政策に反映させるあり方協議会会長、日本リウマチ友の会会長)
 埴岡健一(日本医療政策機構理事、市民医療協議会共同議長)
 渡邊清高(国立がんセンターがん対策情報センター がん医療情報サービス室長)
 ※特別ゲスト(予定) 政府・政党関係者

会場・お問い合わせ先

東京女子医科大学医療・病院管理学教室
 〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
 TEL/FAX: 03-5269-7445
 Mail:iryoukihonhou@gmail.com
地下鉄:都営大江戸線
 若松河田駅下車若松口より徒歩 5 分
 牛込柳町駅下車西口より徒歩 5 分
都営バス
 東京女子医大前下車

プログラム

第 I 部
 14:15 開会挨拶・趣旨説明
 14:20 パネリスト講演
 15:10 休憩
第 II 部
 15:20 医療基本法の提案プレゼン/医療基本法プロジェクトチーム
 15:35 パネルディスカッション/進行:埴岡健一(日本医療政策機構理事)
 16:15 質疑応答
 16:30 全体総括・閉会挨拶



※ なお、都合によりプログラム・パネリスト等が変更になる場合がございますので、ご了承ください。



東京大学医療政策人材養成講座(HSP)医療基本法プロジェクトチーム
 当プロジェクトチームは、東京大学医療政策人材養成講座(HSP)4期生として政策立案者、医療提供者、患者支援者、ジャーナリストの4分野の立場で医療政策に参画している11人で構成されている。